

# 探検！鉄道ジオラマ



エンゼルナ



ミーニャン



## <明治時代の郡山>

山の上にある大きな建物は明治32年に建設されました沼上発電所です。この建設により郡山はどのようになりましたか？

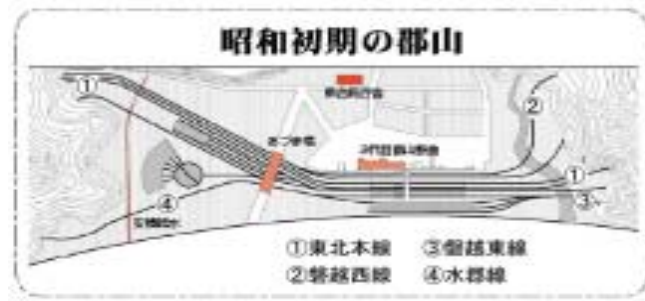


左側に日本で3番目に大きな猪苗代湖からつながっている安積疏水が見えます。この水路は明治の維新政府の国家事業の一つとして計画されました。この水路ができたことで郡山はどのようになりましたか？



はじめて郡山に鉄道が開通したのはいつでしょうか？鉄道ジオラマショーを見たり、科学館スタッフに聞いてみよう。





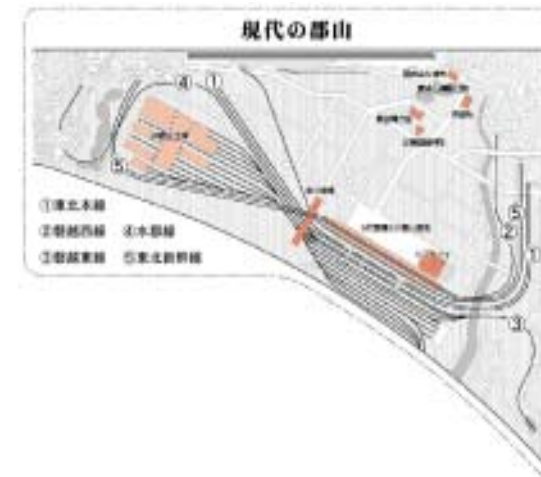
<昭和初期の郡山>

(ア) この駅は3代目の駅舎です。この時代の郡山駅前には明治の郡山とくらべてどのように変わりましたか？たくさんあげてみましょう。



(イ) 現在のピックパレットがある南側の場所には東洋一とよばれた鉄道の操車場がありました。この操車場は何をするものでしょうか？また、なぜ必要だったのですか？

(ウ) この時代になると東西南北に線路がのびました。どの線路がどこに向かうか郡山市の地図に書き込んでみよう。



<現代の郡山>

科学館の入口がある22階展望ロビーは地上から96mの高さにあります。郡山市の街並みを一望できるピック・アイは郡山駅前の象徴になっています。駅前にこのような建物ができた理由を考えてみよう。



東北新幹線は1982年に開通し、東北を貫く高速交通機関として新たな時代を迎えるのに役立ちました。新幹線が郡山に停車することによってどのような影響がありましたか？



郡山市の発展に鉄道は欠かせませんでした。町の発展には交通のほかにいろいろなことが考えられます。住みよい町にするために、自分がもし市長になったらどのような建物や法律をつくるか考えてみよう。